

ジャパンサーチ ギャラリー作成マニュアル

連携機関向けキュレーションワークショップ編

2024年2月29日版

目次

1.	ギャラリーとは？	2
1.1	ギャラリーの特徴と役割	2
1.2	ギャラリー作成のフェーズ	2
2.	テーマ設定	3
2.1	アイデアを出す	3
2.2	テーマ案の吟味	3
①	ジャパンサーチで検索する	3
②	サムネイルを重視する	3
③	お気に入りのコンテンツを保存する	4
2.3	テーマの決定	4
①	テーマを決定する	4
②	辞事典類を参照し、コンテンツを見直す	4
③	ギャラリーに題名を付ける	4
3.	キュレーション	5
3.1	ギャラリーの形式	5
3.2	エディタを利用したギャラリーの構成	5
①	キュレーションのための「エディタ」機能	5
②	エディタで利用できるパーツ	7
③	パーツの配置の手順	7
3.3	ケーススタディ1 百科事典形式の作成手順の紹介	13
①	ジャパンサーチのコンテンツを検索する	15
②	アウトラインを作る	17
③	一行リード・概要を執筆する	18
④	各項目内でコンテンツの表示方法や表示順序を考える	18
⑤	トップ画像を選ぶ	21
⑥	参考文献リストを作成する	22
3.4	ケーススタディ2 ショーケース形式の作成手順の紹介	23
①	ジャパンサーチのコンテンツを検索する	24
②	アウトラインを作る	26
③	一行リード・概要を執筆する	26
④	各項目内でコンテンツの表示方法や表示順序を考える	26
⑤	トップ画像を選ぶ	27

1. ギャラリーとは？

「ジャパンサーチ」は、日本の書籍、文化財、メディア芸術など様々な分野のデータベースと連携し、信頼性の高い魅力あるコンテンツを国内外に提供するプラットフォームです。この一環として、テーマに沿ってコンテンツを集めた「ギャラリー」が用意されています。

ギャラリーは、ジャパンサーチと連携するデータベースのコンテンツと解説文で構成される「電子展覧会」のような形式を取っています。

ここで展示されるギャラリーは、学芸員や専門家によってキュレーションされ、画像と解説文を通じてユーザーに紹介されます。

1.1 ギャラリーの特徴と役割

- ・ **検索以外のコンテンツとの出会い**：すでに 500 点近いギャラリーが用意され、時代・地域・季節などさまざまな切り口で一覧できるようになっています。このギャラリー一覧は、ユーザーに、検索によらずとも気楽にコンテンツに接してもらえる入り口として設計されています。
- ・ **新たな気づきの提供**：ギャラリーの制作過程では、学芸員や専門家が何らかのテーマに基づいて資料を精選し、それぞれの資料がテーマとどのように関連しているかを示します。こうして構築されたキュレーションの成果物としてのギャラリーを通して、ユーザーに、資料の意味を魅力的に紹介することができます。
- ・ **視覚的なプレゼンテーション**：ギャラリー作成のために独自に設計されたエディタ上で、豊富に用意されたレイアウト機能を駆使することで、文章だけでは十分に伝えることができなかったコンテンツの魅力を、視覚的に提示することができます。
- ・ **コレクション全体の魅力の紹介**：ギャラリーは、ギャラリー同士で相互に関連させることが可能です。このようにギャラリーのネットワークを張り巡らせることによって、コレクションの背後にあるストーリーや意義を、単独のギャラリーの場合よりも、さらに深く掘り下げることができます。また、コレクション全体の文化的、歴史的価値を伝える重要な役割も担っています。
- ・ **テーマ設定の自由度の高さ**：テーマは、「江戸時代の美術」「東北」のような大きなものから「国芳」「緒方洪庵」のような固有名まで、様々な粒度で設定できます。また「瓢箪」「描かれた橋」のようにテーマ性の高い設定もできます。
- ・ **多様なユーザー層へのアピール**：様々な視点によるテーマ設定によって、多様な背景や興味を持つユーザー層へ訴求することができます。また、国際的な利用も推進することができるよう、英語の解説文を用意すれば、英語表示への切り替えも可能です。

以上のように、ジャパンサーチの「ギャラリー」を活用することによって、ユーザーに、コンテンツの価値や魅力を分かりやすく提示することができます。また、国内にあるデジタルアーカイブの利活用促進のためにも、重要な仕組みを提供しています。

1.2 ギャラリー作成のフェーズ

ギャラリー作成は、(1) テーマ設定 (2) キュレーションという 2 つのフェーズに分かれます。ギャラリーで使用するコンテンツは、所蔵コレクションを中心に据え、そこにジャパ

ンサーチの豊富な連携コンテンツを付け加え、ギャラリーを構成するイメージです。

2. テーマ設定

ギャラリーを作成する上で重要なのは「テーマ設定」です。所蔵コレクションからどんなテーマが考えられるか、そのテーマからどのようなギャラリーを作りたいか、所蔵コレクション以外のコンテンツはどのようなものが使えるかもポイントです。

2.1 アイデアを出す

この段階ではあまり厳密に考えず思いつくテーマ案をどんどん出してみるといいでしょう。以下はほんの一例ですが、さまざまにイメージを広げて考えます。

- ・干支にちなんだギャラリー
- ・大河ドラマにちなんだギャラリー
- ・歴史的な出来事（〇周年）を記念したギャラリー
- ・季節の行事（正月や七五三など）に関連したギャラリー
- ・所蔵コレクションやお気に入りのコンテンツをメインに構成したギャラリー

2.2 テーマ案の吟味

① ジャパンサーチで検索する

アイデアがいくつか出たところで実際にジャパンサーチを検索してみましょう。どんなに良いテーマでも、ジャパンサーチの検索結果に魅力的なコンテンツが少ないとギャラリー作成の幅は狭まります。

【ポイント】

検索しても面白そうなコンテンツが乏しい場合は、検索のキーワードを広げてみましょう。ネット上の百科事典などを活用して、めぼしいキーワードを追加して試してみると検索結果にも広がりが出ます。「バラ」「薔薇」のような表記違いで検索にヒットしない場合もあるので要注意です。

また、ジャパンサーチ上のお気に入りの画像や手持ちの画像と似た特徴を持つコンテンツを探したい場合は、画像検索を使用してみるのも手段の一つです。画像検索では、「馬に乗った人」といったフレーズから画像を検索することもできます（検索のコツについては、p.15「ジャパンサーチのコンテンツを検索する」を参照）。

② サムネイルを重視する

ギャラリーのコンテンツとして評価する上で大きな決め手になるのは、検索結果に表示される

サムネイルの数と質です。美しいカラー写真や画像の存在はなんと言ってもギャラリーの見え方を魅力的にしてくれます。検索結果が多くても、メタデータや書誌データのみコンテンツでギャラリーを構成するのは難しいので、魅力的なサムネイルがたくさん並ぶような検索結果なら、大いに有望です。

③ お気に入りのコンテンツを保存する

検索結果で出てきたコンテンツのうち、これだと思うものはこの段階でマイノートのブックマーク機能を利用して保存しておきます (p.16「マイノートを活用する」参照)。自館の所蔵品と他館の所蔵品を分けて保存しながら、コンテンツの数や種類、テーマとの関連性などを比較検討し、最終的なテーマを絞っていきます。

2.3 テーマの決定

① テーマを決定する

テーマの吟味が終わる頃には、ギャラリーのイメージもだいたい出来上がって来ます。所蔵コレクションのいずれかを使い、ジャパンサーチの他のコンテンツとどう組み合わせるか、と考えるうちに使いたいコンテンツの優先順位なども見えてくるでしょう。

② 辞事典類を参照し、コンテンツを見直す

この段階で是非やっておきたいのは、百科事典、専門辞典、国語辞典などのテーマに関連する項目を、集めたコンテンツを念頭に置きながら確認することです。辞事典類はそのテーマについて簡潔にまとめているだけでなく、テーマと関連して参照すべき人名、作品名、地名などの情報を載せているものもあります。これらの情報から、集めたコンテンツが十分かどうか、重要なコンテンツが漏れていないか確認ができます。場合によっては、ジャパンサーチ内に該当するコンテンツがない場合もあり、ここでテーマを検討し直すこともできます。

【ポイント】

辞典・事典は、ジャパンナレッジ (<https://japanknowledge.com>) やコトバンク (<https://kotobank.jp>) のようなオンラインサイトを使うと便利です。

③ ギャラリーに題名を付ける

最後にギャラリーの題名 (タイトル) を付けます。ギャラリーを作成していく中で当初の想定が変わり、題名を変更することもあるかもしれません。この段階では、仮のタイトルで構いません。集めたコンテンツの魅力を引き出すタイトルを考えましょう。

3. キュレーション

テーマが決定した後は、いよいよギャラリーの作成開始です。ギャラリーのスタイルは様々ですが、ここでは画像と解説文によってページを構成するオリジナルのビジュアル事典のようなイメージのギャラリーの作り方をご紹介します。

3.1 ギャラリーの形式

ギャラリーには、大きく分けて 3 つの形式があります。歴史上の人物、動植物、美術作品、伝統行事・風俗習慣、建築物などを事典的に解説した「百科事典形式」、詳しい解説抜きで美しい画像を並べた「ショーケース形式」、雑誌の特集のように記事・コラム・画像を組み合わせた「電子展覧会形式」です。ギャラリーにはこの他の形式も考えられますが、まずはこの中から、イメージに合ったギャラリーの形式を選びましょう。

- 百科事典形式のギャラリーの実例

時絵 <https://jpsearch.go.jp/gallery/ndl-bDKqEWNqrdB>

与謝蕪村 <https://jpsearch.go.jp/gallery/ndl-DMVvnVqP2ZHbK0>

鯛 <https://jpsearch.go.jp/gallery/ndl-8KzxZ6KD8Rd>

- ショーケース形式のギャラリーの実例

明治工芸 <https://jpsearch.go.jp/gallery/ndl-9lo8JQE7BGv>

江戸の鳥 <https://jpsearch.go.jp/gallery/ndl-BYvrjBAxvN>

役者絵に見る江戸の名優1 <https://jpsearch.go.jp/gallery/ndl-AXY92zjqjNK>

- 電子展覧会形式の実例

東海道をめぐる <https://jpsearch.go.jp/gallery/ndl-3DB46M3pwDm/1>

東京の落語 明治から大正まで <https://jpsearch.go.jp/gallery/ndl-KxWmwrNID8X>

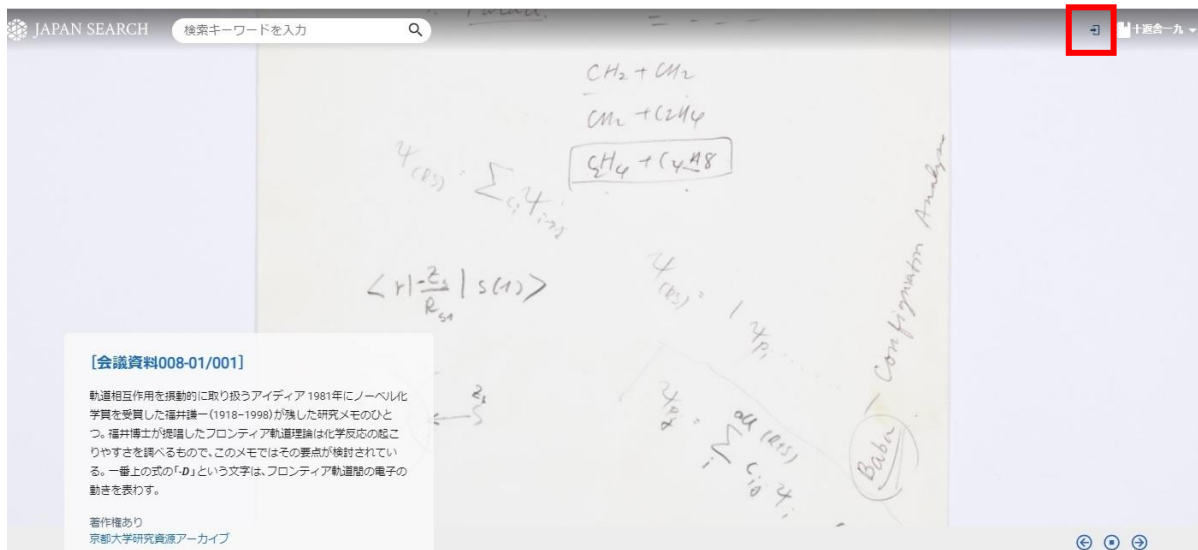
3.2 エディタを利用したギャラリーの構成

① キュレーションのための「エディタ」機能

ジャパンサーチには、デジタル上でのキュレーションをシンプルに行えるツール（「エディタ」機能）が用意されています。このツールを使って簡単にギャラリーを作成できるのがジャパン

サーチの大きな特徴です。

エディタを使用するには、トップ画面右上のアイコンからログイン画面に入り、ID とパスワードを入力（アイコンが表示されない場合は、以下の URL から <https://jpsearch.go.jp/signin>）。



管理画面に入ったら、左のアウトラインから「ギャラリー」を選択し、「新しいギャラリーを作成する」を選択してください。



【ポイント】ギャラリーだけではなく、ジャパンサーチに登録した機関やデータベース情報のページを作成する際も、エディタ機能を活用することができます。

デジタルアーカイブ福井 <https://jpsearch.go.jp/database/fukui>

東京富士美術館 <https://jpsearch.go.jp/organization/fujibi>

② エディタで利用できるパーツ

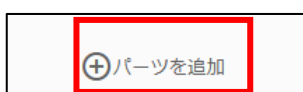
エディタでは、「パーツ」を追加して配置することで、ページを作成します。パーツは 12 種類あり、機能や入力する情報の種類によって使い分けることができます。

パーツ	機能	補足
A テキスト	テキストボックスを表示	解説等の文章の表示に利用。フォント、文字の効果、色、段落等の指定が可能
B 画像	画像を表示	画像を表示。キャプションの入力が可能
C リスト	リストを表示	複数のリスト要素を組み合わせたリストを表示 ※表示スタイル：カード／リスト／タイル／表／ 箇条書き／画像+解説（横）／画像+解説（縦） ／地図／参考文献リスト
D 検索ボックス	検索ボックスを表示	横断検索またはテーマ別検索を設定した検索ボックスを表示
E 解説付き画像	画像に注釈をつけて表示	注釈には画像の特定箇所を範囲指定
F 年表	タイムライン形式で表示	開始年と終了年を指定した解説付きの年表を表示
G セクション	複数のパーツをまとめる	複数のパーツをまとめて1つのセクションとして表示 ※目次の作成にはセクションを利用
H 目次	目次を追加	セクションのタイトルをまとめて目次を作成
I 子ページ目次	子ページの目次を追加	子ページのタイトルをまとめて目次を作成
J 外部サイト埋め込み	iframe を利用した外部サイトの埋め込み	YouTube 動画等を埋め込む
K マイノート	マイノートに保存されたデータを読み込む	♡アイコンでお気に入り登録したコンテンツを読み込む
L タブ	リスト表示の切替	下部に表示されるコンテンツを切り替える

③ パーツの配置の手順

いずれのパーツも、以下の手順から配置することができます。

A) 「(+ パーツを追加)」をクリックします。



B) 追加するパーツをクリックします。

要素を追加する	
テキスト	書式設定が可能な本文
画像	キャプションを付けることができる画像
リスト	メタデータなどを様々な形式で並べることができる
検索ボックス	カスタマイズ可能な検索ボックス
解説付き画像	解説を付けることができる画像
年表	時系列にそって解説を作成できる
セクション	セクションを切って見出しを付けることができる
目次	このページの目次を表示する
子ページ目次	子ページの目次を表示する
外部サイト埋め込み	iframeを利用した外部サイトの埋め込み

C) パーツの内容を入力します。



※画面は「テキスト」の場合

【ポイント】 リストを使いこなす：「リスト」は、ジャパンサーチ内のコンテンツを表示するための主要なパーツです。リストで表示できる要素には、以下のものがあります。

リスト要素	リストに登録される内容	備考
マイノート	マイノートに保存されたデータ	
メタデータ	ジャパンサーチで公開されているメタデータ	サムネイルがない場合は「NO IMAGE」と表示 ※別の代表画像・サムネイル設定も可能
ギャラリー	ジャパンサーチで公開されているほかのギャラリー	ギャラリー検索画面でギャラリーを選択

データベース	ジャパンサーチで公開されているデータベース	データベース検索画面でデータベースを選択
連携機関	ジャパンサーチの連携機関	連携機関検索画面で組織を選択
テーマ別検索	ジャパンサーチで公開されているテーマ別検索	テーマ別検索の検索画面で選択
検索結果	横断検索、テーマ別検索またはギャラリーの検索結果	「メタデータ」または「ギャラリー」を選択し、「検索条件の設定」で検索する
外部リンク	外部リンク	タイトル（日本語）は必須 ※画像の選択も可能

コンテンツを表示するために利用するのは、主に「メタデータ」です。ジャパンサーチを検索し、選択したコンテンツをリスト上に表示することができます。また、リストのコンテンツは、表示方法を変更することができます。見せたいイメージに合わせて、最適な表示形式を選択してください。リストからメタデータを選択し、表示させる方法は以下の通りです。

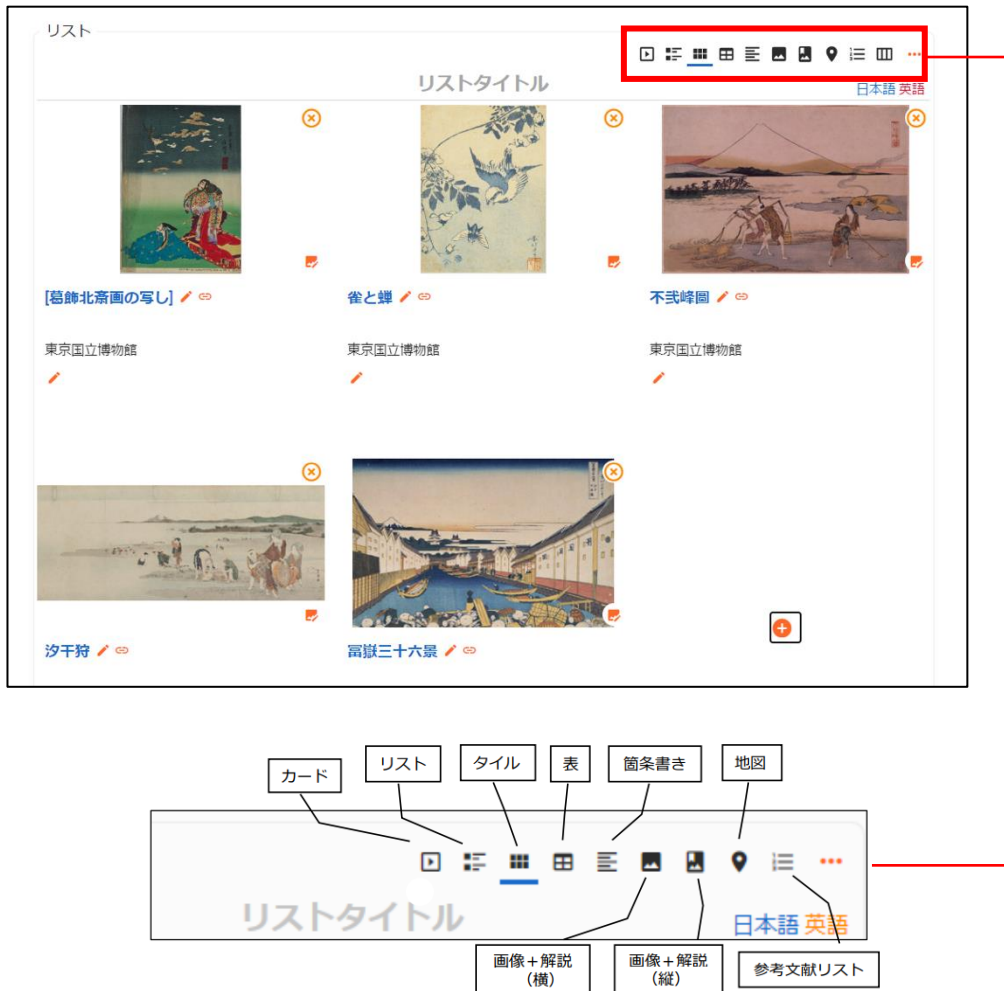
リストから「メタデータ」を選択。



検索して、任意のコンテンツを選択。複数選択が可能で、選択したコンテンツは下部に表示されます。



右上のアイコンから表示方法の変更が可能。



タイトルの変更や説明を加えたいときは、画像下の鉛筆マークからテキストを入力。

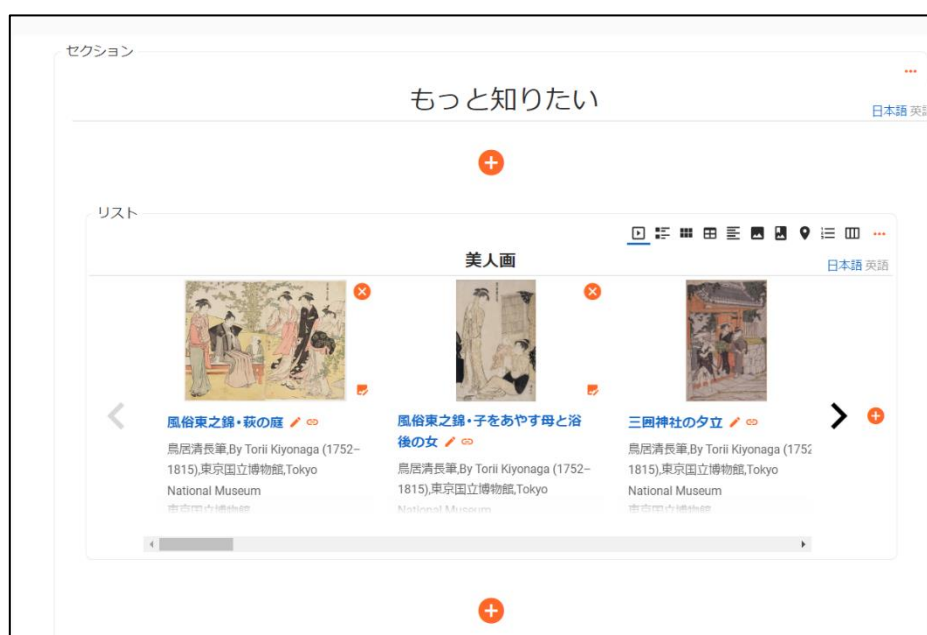


また、リストに配置したコンテンツは、アウトラインのメニューの中で、コンテンツ名をドラッグ&ドロップすることで並べ替えることができます。コンテンツだけでなく、リストや後述するセクションについても、同様の方法で並べ替えることも可能です。



【ポイント】セクションを使いこなす

「セクション」は複数のパーツ（リストや画像、検索ボックス）などをまとめる機能を持ちます。見出しタイトルをつけることで、ギャラリー内に章立てを設けていくようなイメージです。単純にパーツを並べるのではなく、セクションによって内容に区切りをつけられれば、ギャラリーの見やすさは格段に向上します。さらにセクションの中に複数のリストを立てて、それぞれ個別のテーマを立ててタイトルをつけると、内容が整理されてより見やすくなります。





【ポイント】目次を使いこなす

「目次」は、セクションのタイトルをまとめて、自動で目次を作成できるパーツです。章立てを一目で見せることができ、各セクションへのリンクにもなっています。内容が長大になる、電子展覧会形式のようなギャラリーの場合は、目次を設定してみましょう。



3.3 ケーススタディ 1 百科事典形式の作成手順の紹介

ここでは、百科事典形式のギャラリー「七五三」を作成する手順を、作業の流れに沿ってご説明します。まずは、七五三のギャラリーの構成から見ていきましょう。

このほかにも、テーマによっては「動画」や「地図」、「年表」といった要素を加わりますが、まずは「百科事典形式」のベーシックな構成である「七五三」から、その手順を説明します。

The screenshot shows a gallery page for the topic '七五三' (Shichi-Go-San). The page is annotated with several callouts:

- 代表画像** (Representative Image): Points to a large illustration of children in traditional attire.
- 一行概要** (Summary): Points to the main text block containing the title and introductory paragraph.
- タイトル** (Title): Points to the title '七五三'.
- 概要原稿 テキストパーツを使用** (Use Summary Draft Text Parts): Points to the main text block.
- 関連するひと・もの・こと (関係ギャラリーを紹介) リストパーツを使用** (Use List Parts to Introduce Related People/Things/Events): Points to the '関連するひと・もの・こと' section.
- 本で知る (テーマに関連した文献を紹介) 「本で知る」とタイトルをつけたセクションパーツを配置。その中にリストパーツを使用。** (Use 'Learn from Books' Section Parts to Introduce Related Literature. Place 'Learn from Books' Section Parts with Titles. Use List Parts within them.): Points to the '本で知る' section.

The '関連するひと・もの・こと' section includes items like 'おひなさま', '端午の節句', '国の市', '錦絵', '鈴木春信', '鳥居清長', and '歌川国貞(三代歌川)'. The '本で知る' section includes items like '日本風俗図絵 第5巻', '絵本物見聞', '四時交加 2巻', '源氏物語 第1', '古事類苑 第34冊', '江戸年中行事', and '家庭年中料理の仕'.

もっと知りたい

絵画に描かれた七五三

- 風俗東之錦 町家の持者
島田清高/国TORII Kiyonaga
江戸東京博物館
商家の子が七五三の宴参りに出かけ
- 風俗四季寄仙 神楽月
鈴木春信、なし
慶應義塾大学メディアセンター
鈴木春信は、美人圖を得意とした江戸
- 江戸名所 浅草東御門跡
広重 山田屋
国立国会図書館
歌川広重「江戸名所」より、浅草東御
- 「風俗東之錦」
清兵
Art Institute of Chicago (AIC)
美人圖の名手・鳥居清長代表作「風
- 国芳国貞錦絵
国立国会図書館
歌川国貞(三代国貞)の三枚続きの錦
- (七五三画)
かつしか北廣(画)
東京都立図書館
- 「七五三子宝合」
歌麿村
The British Museum

七五三の写真

- 七五三祝(明治神宮)
加藤 恭平/KATO Kyohei
東京都写真美術館
昭和10年~18年(1935~1943)撮影。
- 七五三のお宮参りに出発の朝
影山 光洋/KAGEYAMA Koyo
東京都写真美術館
昭和23年(1948)撮影。
- 七五三
石山与五栄門 モノクロ 35mmネガフ
イルム石山与五栄門
新潟大学 地域映像アーカイブ研究
- プレザー袋で千歳給を持つ少年
奥洋佑 モノクロプリント 88x57mm、
金山町(福島県)
新潟大学 地域映像アーカイブ研究
- 33.11.15
社
高相嘉男;たかそうま
TRC-ADEAC株式会社

もっと知りたい
(テーマに関連した絵画や
写真等を紹介)
「もっと知りたい」とタイ
トルをつけたセク
ション
パーツを配置。その中にリ
ストパーツを配置。「絵画
に描かれた七五三」「七五
三の写真」「七五三の衣装
と道具」の3つのリストを
配置。

七五三の衣装と道具

- 千歳給袋(南無井上家伝来)
江戸東京博物館
江戸後期(18世紀)の千歳給の袋。
- 七五三男児衣装
江戸東京博物館
大正14年頃の七五三の衣装。寄贈者
の弟が5歳の祝いで着用したとい
- 七五三用祝画(五才草)
江戸東京博物館
大正~昭和初期(20世紀)。
- 子供(男児)用 袴羽織(七五三用)
国立民族学博物館
大阪府河内長野市で1950年頃に七五
三参りに着用した、男子の礼装。呉服
- 子供(男児)用 着物(袴長着)(七
五三用)
国立民族学博物館
大阪府河内長野市で1950年頃に七五
- 七五三衣装
埼玉歴史と民俗の博物館
- 七五三衣装
埼玉歴史と民俗

見に行く、調べる

- 国立国会図書館
国立国会図書館は、国会に属する唯一の国立の図書館です。国内外の資料・情報を広く収集・保存して、知識・
文化の基盤となり、国会の活動を補佐するとともに、行政・司法及び国民に図書館サービスを提供していま
す。
- 国立民族学博物館
国立民族学博物館(みんぱく)は、世界最大級の博物館機能と大学院教育の機能を備えた、文化人類学・民族学
の研究所として世界で唯一の存在です。
- 江戸東京博物館
・江戸時代から現代に至るまでの400年にわたる、江戸・東京の歴史と文化に関する資料を収集・浮世絵などの
日本画、染織や漆器、武器などの工芸品、そして市井の人々が大切に受け継いできた生活民俗関係資料など幅
広い資料を収集・収集した資料は約9,000㎡の広大な常設展示室で逐次公開するとともに、特別展や企画展で
はコレクションを紹介。・特徴的な資料・作品は、歌川広重「名所江戸百景」、葛飾北斎「富里三十六景」などの著
名な絵師の作品から、江戸時代の武家や商人などの暮らしがわかる資料、日本の科学技術黎明期の資料群など、
様々な分野にわたる江戸博物館コレクションを公開。・収蔵点数:約370,000点
- 本の万華鏡 (第31回) 成人の儀式—古代から近世まで—コラム 七五三
国立国会図書館のミニ電子展示「本の万華鏡」。国立国会図書館の所蔵資料を掲載しながら、七五三の歴史を解説。

見に行く、調べる
(関連施設やWEBサイト
などを紹介)
「見に行く、調べる」と
タイトルをつけたセク
ション
パーツを配置。そ
の中にリストパーツを配
置。

参考文献

- 『日本年中行事辞典』 鈴木東三 等、角川書店 国立国会図書館 全国書誌
- 『知っておきたい日本の年中行事辞典』 福田アツオ、菊池健策、山崎祐子、常光徹、福澤敏秀 等、角川弘文館 国立国会図書館 全国書誌
- 『図説浮世絵にみる江戸の歳時記』 佐藤真人 監修、福澤敏秀 著、角川出版、角川書店 国立国会図書館 全国書誌
- 『日本大百科全書(ニッポニカ)』(japanknowledge) 「七五三」[舞臺]の項目
- 『日本国語大辞典』(japanknowledge) 「袴着」「袴」の項目
- 『ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典』(コトバンク) 「袴着」の項目
- JapanKnowledge「コトバンク」所収コンテンツの最終アクセス日は、いずれも2023/10/20。

参考文献
(ギャラリーを作成するの
に使用した文献等を紹介)
「参考文献」とタイ
トルをつけたリス
トパーツを配置。

責任表示
国立国会図書館

二次利用について
CC BY (表示)

最終更新日

① ジャパンサーチのコンテンツを検索する

「2.2 テーマ案の吟味」で解説したように、まずは「横断検索」によって全体を検索して、どのようなコンテンツがあるか把握することがスタートです。適切な検索結果を得るための検索のコツがあります。順を追って説明しましょう。

A) 検索タブを駆使する

「横断検索」の検索結果ページの検索窓のすぐ下に、「利用条件」「コンテンツ」「種類」「データベース」「分野」「時間/時代」「場所」「人物/団体」「画像検索」というタブがあります。このタブを選択することで、検索結果の絞り込みができます。ギャラリーで使うコンテンツを探す上で大事なのは、「コンテンツ」タブの「サムネイル有」にチェックを入れること。画像のあるコンテンツのみに絞り込まれるので、便利です。

ウェブ公開	限定公開	サムネイル有	III対応	画像	動画	文書	表形式	音声	3D	PDF	
1706	147	1885	1377	536	2	-	-	-	-	51	×

また、「データベース」など一部の検索タブでは、「除外条件を指定」のチェックを入れることで、NOT 検索を行うことができます。「国立国会図書館デジタルコレクション」のデータベースを検索条件から外したい場合は、「除外条件を指定」をチェックしてから「国立国会図書館デジタルコレクション」のデータベースを除外して検索することができます。

全国書誌を除外	にいがた 地域映像アーカイブデータベースを除外	日本古典籍総合目録を除外	青森県史デジタルアーカイブ	県史テキストデータベースを除外
244	146	135	108	
国立公文書館デジタルアーカイブを除外	ARC古典籍ポータルデータベースを除外	浮世絵データベースを除外	教育図書館近代教科書デジタルアーカイブを除外	
107	94	91	83	
ARC浮世絵ポータルデータベースを除外	ARC番付ポータルデータベースを除外			
73	49			

B) さまざまなキーワードで検索する

キーワードを広げながら多角的に検索すると良いでしょう。ジャパンサーチで抽出したコンテンツのタイトルに含まれる関連ワードでさらに検索することによって、より広い範囲のコンテンツにリーチしたり、テーマを絞ってコンテンツを収集できたりします。

(例)「七五三」の検索ワード

- ・七五三 …テーマ
- ・袴着 …辞書などの参考資料で出てきたキーワード
- ・帯解 …辞書などの参考資料で出てきたキーワード
- ・髪置 …辞書などの参考資料で出てきたキーワード
- ・宮参り …ジャパンサーチのコンテンツタイトルから抽出したキーワード
- ・十一月 …ジャパンサーチのコンテンツタイトルから抽出したキーワード
- ・神田明神 …ジャパンサーチのコンテンツタイトルから抽出したキーワード

【ポイント】手元にある資料に掲載されている図版と同様のコンテンツ、もしくは、類似したコンテンツがジャパンサーチにないか、調査するのも手段のひとつです。作品タイトルで検索したり、文様や形状をキーワードに検索したり、時代などの条件に合わせて絞り込むのも有効です。

C) マイノートを活用する

検索画面の画像の下にある♡アイコンをクリックすると、マイノートに登録されます。マイノートに集めたコンテンツは、画面右上の「ノート」アイコンから確認できます。マイノートに登録したコンテンツは、「リスト」のマイノートからエディタ画面に読み込むことができます。気になったコンテンツはいったんマイノートに登録し、後で吟味すると良いでしょう。



② アウトラインを作る

検索によって得られたコンテンツをどのようにレイアウトできるか、ギャラリーの構成案を考えましょう。抽出したコンテンツをどのように分類できるか、いくつかのリストに振り分けながら小見出しを立てていく中で、構成が出来上がっていきます。

【ポイント】

「時代別」「作家別」「地域別」「作品形式別（絵画／写真等）」など、分類の形式はさまざまです。抽出したコンテンツの傾向や数によって、分類の仕方を考えてみると良いでしょう。

「七五三」の場合、セクション『本で知る』に文献をまとめたリストを設置し、セクション『もっと知りたい』に「絵画に描かれた七五三」、「七五三の写真」、「七五三の衣装や道具」という分類で3つのリストを設置。検索結果でヒットしたコンテンツのうち、数が多く、かつ見栄えのするコンテンツを選定していく中で、これらの分類に落ち着きました。



③ 一行リード・概要を執筆する

辞書や資料を参考にしながら、ギャラリーの概要説明を執筆します。また、参考にした資料は記録しておき、「参考文献リスト」に掲載します。

また、概要の執筆作業を通して、項目立てが適切かどうか、再度見直すとともに、追加した方が良いコンテンツが見つかった場合は追加します。

【ポイント】

概要で触れた内容がジャパンサーチ上のコンテンツにあれば、そのコンテンツも紹介するとユーザーに理解してもらいやすいでしょう。

(例)

概要「『源氏物語』「桐壺」巻に、光源氏が3歳で御袴着をしたという記述がある。」



ジャパンサーチ上の『源氏物語』の資料から該当場面を紹介。



④ 各項目内でコンテンツの表示方法や表示順序を考える

順番を入れ替えて、重要なコンテンツを前（左側）に配置しましょう。

【ポイント】

エディタの右側にあるファセットを用いれば、コンテンツの入れ替えができます。ファセットのコンテンツをドラッグし、任意の場所にドラッグすると、エディタの画面上でも順番が変わります。コンテンツだけでなく、リストやセクションといったパーツの配置を入れ替えることも可能です。

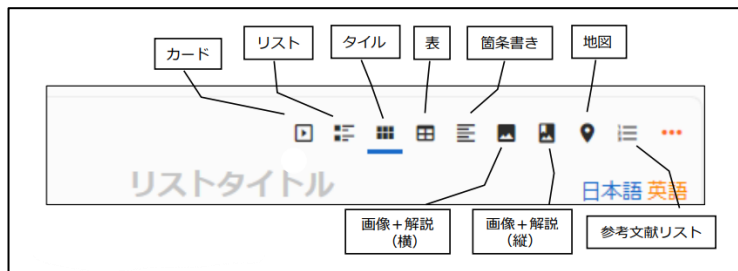


さらに、リストの表示形式を変えて、見せ方を変えるのも方法のひとつです。「七五三」のリストは「カード形式」ですが、キャプションを見せたいのであれば「タイル形式」、コンテンツを単独で大きく表示し、詳しい解説を見せたいのであれば、リストではなく「解説付き画像」パーツを選択するでしょう。

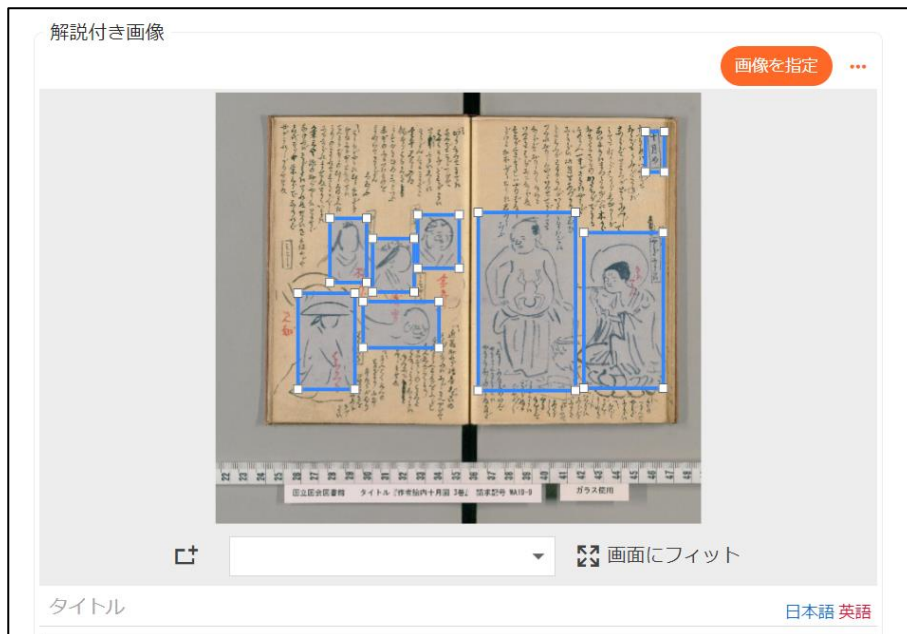
A) カード形式



B) タイル形式

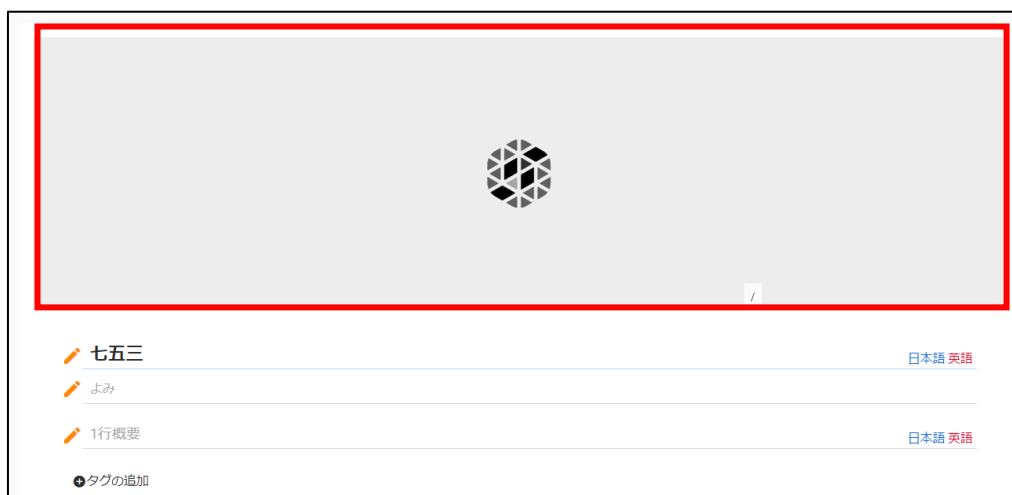


また、解説付き画像では、枠で囲むなどして、画像に詳しい解説を付けることも可能です。



⑤ トップ画像を選ぶ

テーマを象徴し、人目を引きやすい華やかな画像を選びましょう。トップ画像を入れるには、ギャラリー最上部の空欄部分をクリックしてください。



ジャパンサーチ内のコンテンツを使用する場合は、「ジャパンサーチの資料から」を選択し、検索してください。



【ポイント】

トップ画像の形状が横長なので、横長の画像、もしくはトリミング機能を使って横長で表示しやすい画像を選ぶと大きく表示できます。代表画像の選択画面でコンテンツを選択したのち、上部のタブから「画像を切り抜く」を選択し、「範囲を選択する」からトリミングを行います。



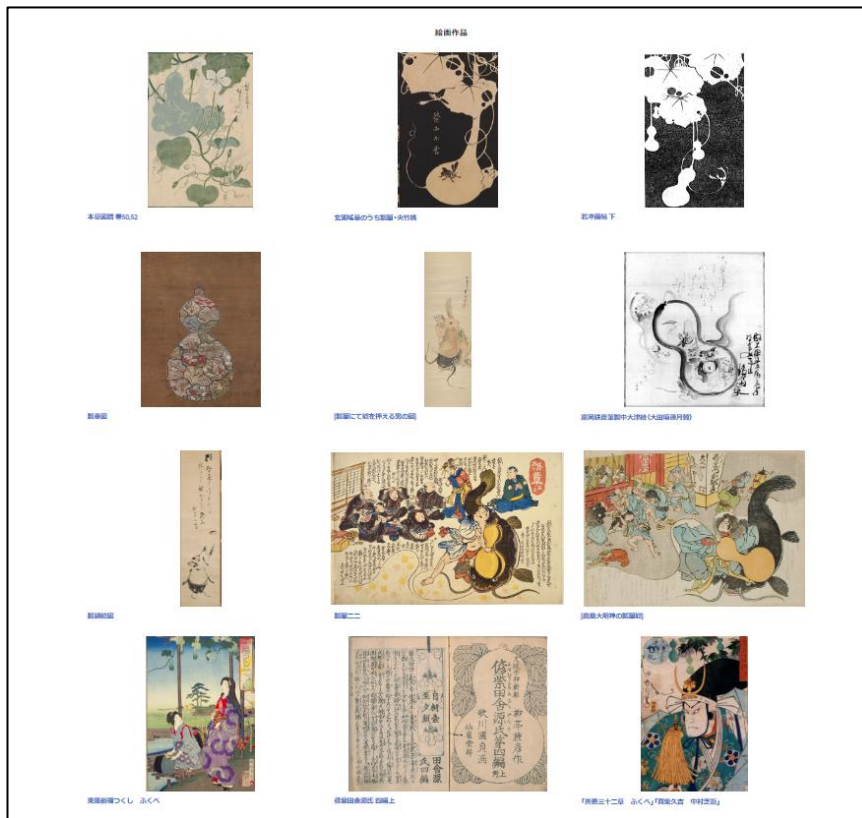
⑥ 参考文献リストを作成する

参考文献はリストの表示を「参考文献形式」を選択します。

【ポイント】

データベース「全国書誌」を利用すれば、書誌データをそのまま表示することができます。また、テキストで直接入力すれば、リンクを入れることも可能です。





ショーケース形式のギャラリーは、百科事典形式とは異なり、ビジュアルに特化してコンテンツを見せる表現形式です。辞書的な解説は極力少なくし、絵の面白さ、造形の豊かさ、テーマ性の高さを存分に見せるための形式です。

「瓢箪」は、古くからさまざまな美術作品のモチーフとして描かれています。「百科事典形式」で、辞書的な解説をすることも可能ですが、ユニークなビジュアルを強調するため、ショーケース形式で作成しました。

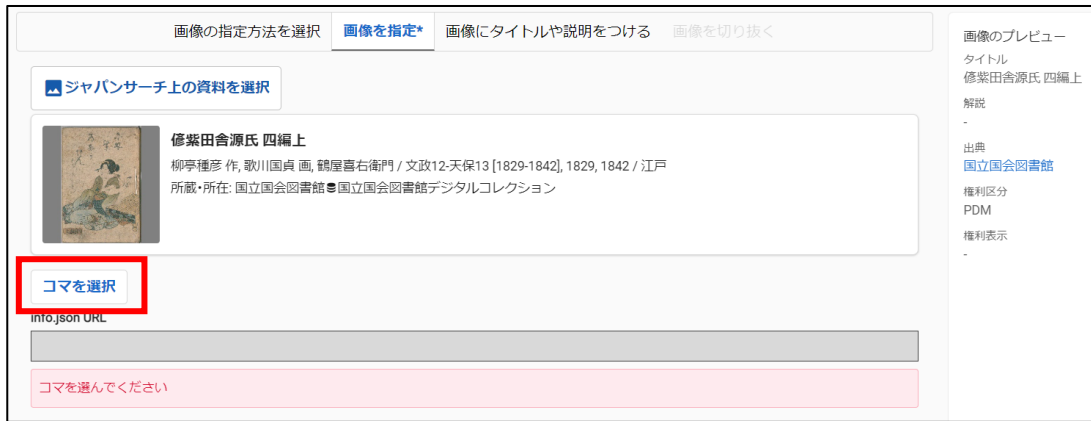
① ジャパンサーチのコンテンツを検索する

「百科事典形式」と同様に、まずは検索をしてどのようなコンテンツがあるか把握することがスタートです。「コンテンツ」タブから、「サムネイル有」で横断検索をして、瓢箪に関連するコンテンツを探します。

A) さまざまなキーワードで検索する

瓢箪のコンテンツを検索するとき、「瓢箪」と漢字表記で検索するだけでなく「ひょうたん」「ヒョウタン」とひらがなやカタカナで検索してみます。ジャパンサーチに登録されているメタデータによっては、漢字表記がないものもあるからです。それぞれ検索結果が異なりますので、試してみるとでしょう。また、「瓢」「ひさご」「ヒサゴ」、「ぶくべ」、「胡盧」「壺盧」「葫芦」など、「瓢箪」の別名も検索してみると、異なるコンテンツがヒットします。

【ポイント】手元の参考資料などに掲載されている図版も調査し、作品タイトルで検索しましょう。ただし、中にはサムネイルのみだと探しているコンテンツが含まれているかどうか分からない場合もあります。例えば、『修紫田舎源氏』の扉絵では「瓢箪」が使われていますが、検索結果のサムネイルでは扉絵が表示されません。書籍などの場合、コンテンツのコマを選択してページをめくることで、初めて該当箇所にとどり着くこともあります。



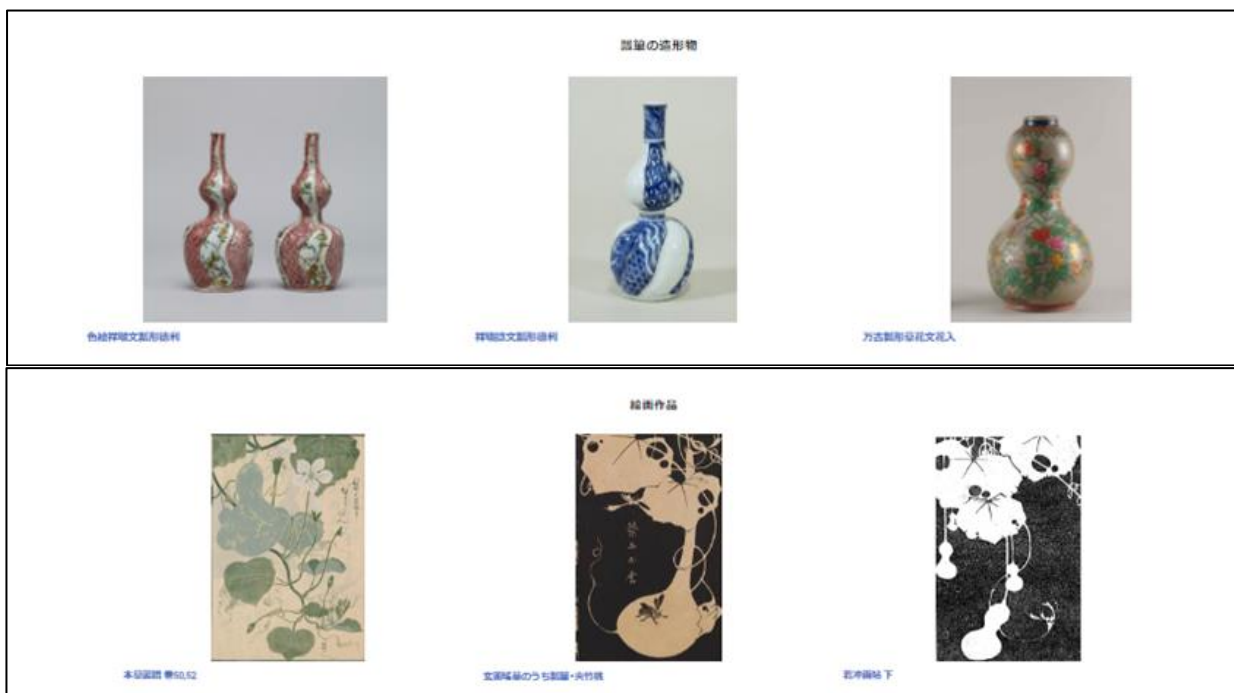
B) 画像検索を活用する



画像検索では、任意の画像と似た特徴をもつコンテンツを検索することができます。p.3 で解説したフレーズから画像を検索する方法のほかに、サムネイル画像から特徴の似た画像を探すことも可能です。サムネイル画像の右下にある画像検索アイコンをクリックすると、類似の画像が一覧表示されます。

② アウトラインを作る

検索によって得られたコンテンツを、「造形物」（徳利や花入れ、茶入れ、皿など）と「絵画」（浮世絵や本の扉絵、引き札など）に分類しました。これをそれぞれのリストに振り分けます。



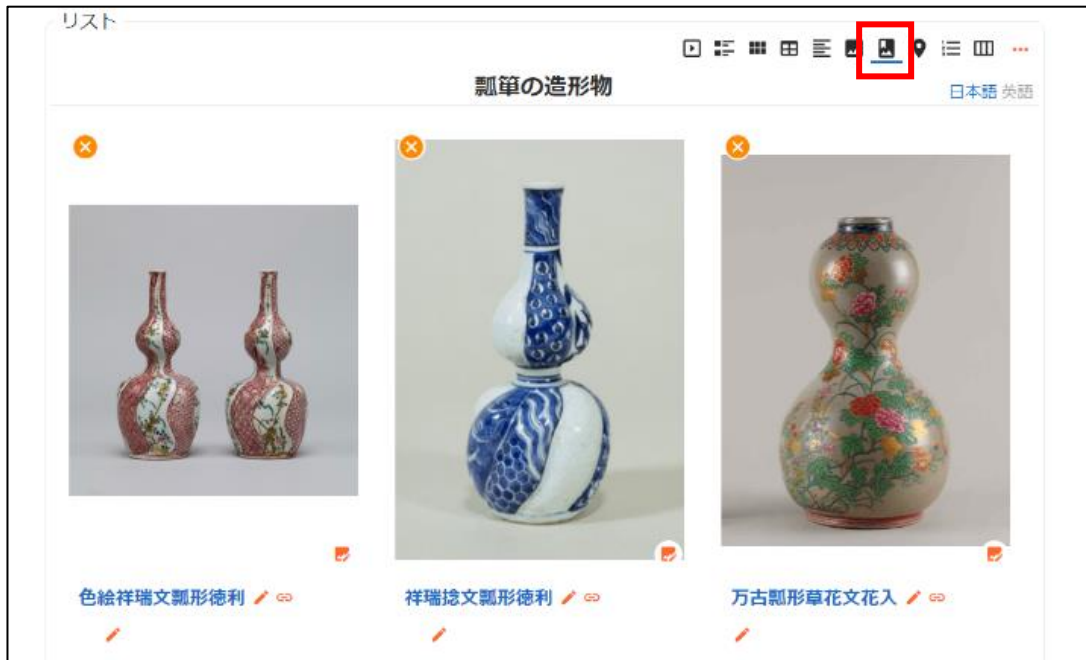
③ 一行リード・概要を執筆する

概要は「百科事典形式」と同様に、辞書などを参考にしながらまとめます。

④ 各項目内でコンテンツの表示方法や表示順序を考える

順番を入れ替えて、重要なコンテンツを前（左側）に配置するのも「百科事典形式」と同様です。ただし、ショーケースはコンテンツのビジュアルを見せたいので、画像＋解説（縦）形式のリスト表示形式を選択しています。

画像+解説（縦）形式



また、ギャラリー全体の表示方法は、「テーマ」から変更することができます。「デフォルト」のほか、「モダン」「和モダン」を選べます。

⑤ トップ画像を選ぶ

「百科事典形式」と同様、ギャラリーを代表する目を引きやすい画像を選びましょう。ジャパンサーチ内のコンテンツであれば、「ジャパンサーチの資料から」を選択し、検索してください。



書籍の中身を見せる場合は「コマを選択」から指定しましょう。



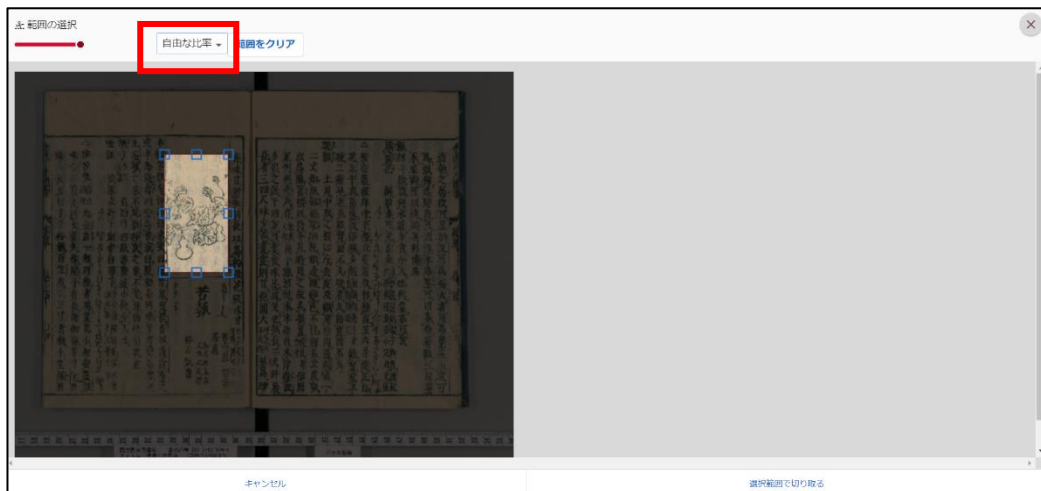
サムネイルの中から、該当するコマを選択。



コマを選択したのち、必要であれば画像をトリミングします。「画像を切り抜く」から「範囲を選択」をクリック。



「自由な比率」を選択し、該当範囲を選ぶ。比率を固定したいときは「推奨（16：9）」または「正方形」を選びましょう。



【ポイント】

外部コンテンツをリンクで表示させることも可能です。「画像の指定方法を選択」から「URLを指定」を選びます。



「画像を指定」に遷移したら URL を入力し、「画像にタイトルや説明をつける」で必要事項を記入してください。著作権に抵触しないものを選択するように注意してください。



画像

画像の指定方法を選択 画像を指定 **画像にタイトルや説明をつける*** 画像を切り抜く

タイトル

日本語 英語

日本語は必須です

説明

日本語 英語

権利区分

必須項目です

権利表示 HTML可

また、代表画像だけではなく、リストのコンテンツにおいても、同様の方法で外部コンテンツをリンクで表示させることも可能です。